



国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し 中南米セット 小学校高学年向 内容紹介

このセットに含まれる本の内容紹介です。
学校での本の紹介や展示、学校図書館での選書などにご利用下さい。
※外国語の本にある日本語タイトルは参考訳です。

1. 世界の地理：国別大図解 5（南北アメリカの国々）改訂版

井田仁康 監修
学研プラス 2019 年

北米 2 国と中南米の主な 21 の国々について、首都、人口などの基本データ、自然や産業、歴史などを、カラー写真や図を使って一目で特色がわかるように紹介している。巻頭の南北アメリカの地図で全体の位置関係を把握し、巻末の基本データ一覧で中南米全 33 カ国を比較できる。

2. DOOR：208 の国と地域がわかる国際理解地図 5（南アメリカ・オセアニア）

地図情報センター 2019 年

カラフルなイラスト地図で各国への理解を促すシリーズ。一つの国を見開き 2 ページで取り上げ、人口などの基本データや国旗、国際オリンピック委員会が定めた略称、挨拶の言葉などを紹介。多様なイラストと地図でその国の概要を掴むことができる。5 巻では南アメリカ 12 か国を掲載する。巻末に索引あり。

3. 世界の文化と衣食住：国の記念日と祝日 4（南北アメリカ・オセアニア）

鈴木佑司 監修
小峰書店 2019 年

各国の「衣装・料理・住居」の特色と国の記念日、祝日・祭日を、カラー写真をふんだんに使って紹介するシリーズ。伝統的な行事も紹介されており、その国の文化や歴史をわかりやすく学ぶことができる。巻末に索引あり。

4. 写真で学ぶ世界遺産 2（南北アメリカ・オセアニア）

平川陽一 編著
汐文社 2015 年

文化遺産、自然遺産など、ユネスコの世界遺産を豊富なカラー写真で紹介するシリーズ。中南米では、マチュ・ピチュやナスカの地上絵、ガラパゴス諸島など 2014 年までに登録された 26 か所を掲載し、分かりやすい解説を付す。巻末に用語解説・参考文献あり。

5. スペイン・ポルトガルの文字と言葉（世界の文字と言葉入門 11）

黒澤直俊 監修, こどもくらぶ 著
小峰書店 2005 年

中南米でも主としてスペイン語とポルトガル語が使われている。この本では文字やあいさつの表現の他にも、食べ物など、生活に密着した言葉が写真とともに紹介されている。多言語の看板写真など、文字からその国の文化に親しむことができる。

6. 南・北アメリカの音楽（国際理解に役立つ世界の民族音楽 6）

千葉泉 著, こどもくらぶ 編
ポプラ社 2003 年

主に中南米の民族音楽を紹介。様々な人々が影響しあい、サンバやタンゴのリズムや音楽が育まれてきたことがわかる。ペルーのケーナ（縦笛）やブラジルのアタバーキ（打楽器）等、多くの民族楽器の写真を掲載。索引あり。

7. 南北アメリカのあやとり：先住民の文化と生活から生まれたかたち

野口とも 著
誠文堂新光社 2019 年

南北アメリカに伝えられているあやとりの形を写真で紹介する。2 章では紹介した中から 12 種類のとりかたを図で説明。初級、中級、上級とあるので実際にやってみるのも楽しい。

8. 古代マヤ：密林に開花した神秘の文明の軌跡をたどる （ナショナルジオグラフィック・考古学の探検）

ナサニエル・ハリス 著, エリザベス・グレアム 監修, 赤尾秀子 訳
BL 出版 2014 年

メキシコ南部のユカタン半島に栄えたマヤ文明。その起源、大都市の発展の様子、庶民の暮らしについて、近年の研究成果をもとに豊富なカラー写真を用いて分かりやすく解説する。「歴史の謎をとく探偵」としての考古学者の仕事ぶりも興味深い。巻末に索引・参考文献あり。

9. コロンブスの航海

ピエロ・ベントゥーラ 絵, ジアン・パオロ・チェゼラーニ 文, 吉田悟郎 訳
評論社 1979 年

コロンブスが黄金の島ジパングを目指した当時の船や乗組員の服装、港町の様子を挿絵とともに解説する。当時の地理概念、初めに到着した島の原住民の暮らしについても書かれている。トウモロコシ、ジャガイモなどが世界中に広まることになった一方、数百年の植民地の歴史の幕開けでもあった。

10. チャールズ・ダーウィン、世界をめぐる

ジェニファー・サームズ 作, まつむらゆりこ 訳
廣済堂あかつき 2017 年

ダーウィンの伝記絵本。やさしく可愛らしい印象のイラストと絵地図で、ダーウィンが乗ったビーグル号の航海ルートをたどり、南米とガラパゴス諸島の旅を主に紹介する。原書は、全米科学教育者協会の「子どものための優れた科学書 2017」にリストアップされている。巻末に解説・参考文献あり。

11. 世界のともだち 13 (メキシコ)

長倉洋海 写真・文
偕成社 2014 年

12. 世界のともだち 27 (キューバ)

八木虎造 写真・文
偕成社 2015 年

世界の子どもたちの生活を紹介する写真絵本シリーズ。1冊ごとに1人の子どもに密着し、家庭、学校、地域などさまざまな側面からその国や都市での暮らしを伝える。巻末には、地理・歴史のデータを掲載する。

第13巻ではメキシコ・オアハカ州にある織物の町に住む10歳のリセットさんを紹介する。市場での母の店の手伝い、休日にみんなで食べるお昼ごはん、学校での授業の様子、「死者の日」に祈る姿などを見ることができる。

第27巻ではキューバのサンタクララに住む小学4年生のエリオくんを紹介する。ものがあまりなくても工夫して楽しく暮らす様子、真夏のクリスマス、10歳の誕生日のお祝いなどを絡めながら、野球少年の彼が練習を重ねて町の代表チームに選ばれ、大会で優勝するまでを追う。

13. ブラジルと出会おう

谷啓子, 富本潤子 編著
国土社 2001 年

南米出身者への教育問題に取り組んでいる「外国人児童生徒保護者交流会 (IAPE)」ポルトガル語教室が編集。ブラジルの記念日やお祭り、子どもの好きな軽食や菓子の作り方、遊び、歴史や日本との関わりなどが書かれている。ポルトガル語の章では、カードを作って遊びながら言葉を学べる。

14. 池上彰が注目するこれからの大都市・経済大国 3 (リオデジャネイロ・ブラジル)

池上彰 監修, 稲葉茂勝 訳・著, こどもくらぶ 編集
講談社 2015 年

ブラジルでは、2014年にサッカーのFIFAワールドカップ、2016年には夏季オリンピックが開催された。本書は巻頭で大都市リオデジャネイロの歴史や人口、住環境などを紹介している。後半では、ブラジルの政治や教育、経済、文化、日本とのつながりなどを写真やグラフなどを用いてわかりやすく解説している。巻末に索引あり。

15. アマゾンからの手紙：10歳のブラジル移民

山脇あさ子 作, 宮崎耕平 絵
新日本出版社 2003 年

10歳でブラジルに移民した小野正さんの体験記を基にしたフィクション。ブラジルへの船旅に始まり、アマゾンでの生活、大熱病など、過酷な状況を生きた家族の様子が描かれる。

国立国会図書館では、ホームページにて国立国会図書館電子展示会「ブラジル移民の100年」を提供しております。
合わせてご覧下さい。 <https://www.ndl.go.jp/brasil/>

16. 聞いてみました！日本にくらす外国人 3 (アメリカ・カナダ・ブラジル・ポルトガル)

佐藤郡衛 監修

ポプラ社 2018 年

来日した外国人に、日本に興味をもったきっかけや来日の理由、現在のくらしや仕事などをインタビューするシリーズ。この巻では、ブラジル、コロンビアなどの出身者を取り上げる。各章の最後にその国の基本情報がまとめられている。巻末に索引あり。

17. しらべよう！世界の料理 7 (中央・南アメリカ オセアニア)

ポプラ社 2017 年

各国の料理を紹介することにより、様々な文化や風土の違いを学ぶことができるシリーズ。メキシコ料理の「タコス」、キューバ料理の「トストネス」、ブラジル料理の「コジード」などを紹介する。国ごとの基本情報のほか、料理の特徴や代表的な食材などに関する説明もある。巻末に索引あり。

18. 南北アメリカのお菓子 (どんな国？どんな味？世界のお菓子 6)

服部幸應, 服部津貴子 監修・著

岩崎書店 2005 年

お米をミルクで煮た「アロス・コン・レチュエ」やアンデス原産のかぼちゃやさつまいもを使ったドーナツ「ピカロネス」など南北アメリカに伝わるお菓子 10 種類のレシピを紹介。アンデス原産の野菜が世界中に伝わった理由や、南米各国の食生活など、お菓子の説明に加えた食文化に関する説明がある。巻末に用語説明と索引あり。

19. ブラジルのごはん (絵本世界の食事 7)

銀城康子 企画・文, 萩原亜紀子 絵

農山漁村文化協会 2008 年

ブラジルの朝ごはんのメニューは？よく食べられる食材は？日本のごはんとは似ているの？食事の時のマナーは？などのブラジルの食卓事情がわかる絵本。国民食フェイジョアードについての説明やレシピも掲載。

20. ペルーのごはん (絵本世界の食事 15)

銀城康子 企画・文, 加藤タカ 絵

農山漁村文化協会 2008 年

ペルーの人はどんなごはんを食べているの？1 週間のメニューは？お祝いの時の料理は？などのペルーの食卓事情がわかる絵本。各国の食文化を取り入れていったペルー料理の成り立ちについての説明もあり。

21. アマゾン・アマゾン (たくさんのふしぎ傑作集)

今森光彦 文・写真

福音館書店 1998 年

世界中の辺境地への訪問を重ねながら取材をつづける著者が、めずらしく不思議な昆虫たちに出会うために旅をし、自給自足の生活をおくる一家と生活を共にする。迫力のある数々の写真とともに、アマゾンの大自然とそこに暮らす人々の姿を文章で綴る。

22. ジングル（絵本図鑑シリーズ 14）

松岡達英 作

岩崎書店 1993 年

コスタリカの熱帯雨林で、多種多様な生物が調和して生きている様子を紹介する。著者がスカンクをトイレから観察する様子など、各々の絵には著者が現地で観察した内容が説明されている。あとがきでは、森林伐採の現状や自然保護の大切さを訴えている。見返しに現地でのデッサンとメモがある。

23. 密着！動物たちの 24 時間 熱帯雨林編

Fleur Star 編著, 小宮輝之 日本語版監修, 渋谷弘子 訳

汐文社 2015 年

世界最大のジャングル、アマゾン熱帯雨林に生息する動物たちの生態を時間ごとに追う。オマキザル、ジャガー、コンゴウインコ、モルフォチョウなどのほか、昆虫やカエルの仲間、水を貯える植物なども取り上げ、色鮮やかな写真で動物たちの暮らしぶりを紹介する。巻末に索引・用語解説あり。

24. 密着！動物たちの 24 時間 アンデス山脈編

Fleur Star 編著, 小宮輝之 日本語版監修, 渋谷弘子 訳

汐文社 2015 年

南米アンデス山脈に生息する動物たちの生態を時間ごとに追う。ピューマ、メガネグマ、ビクーニャ、コンドルなどの動物たちが、アンデスの過酷な環境でどのように暮らしているのかを生き生きとした写真で紹介する。巻末に索引・用語解説あり。

25. ひとりぼっちのジョージ

ペンギンパンダ 作・絵

ひさかたチャイルド 2011 年

1971 年ガラパゴス諸島ピンタ島で、絶滅したと思われていたゾウガメが発見された。ジョージと名付けられたゾウガメは研究所に連れていかれて快適に過ごすことになったが、ジョージにとっての幸せとは、人間に大切に飼育されることだろうか、それとも島の自然の中で鳥やイグアナなど他の生きものの友だちと楽しく過ごすことだろうか。地球上すべての生きものの命の尊さ、共生の大切さを訴える絵本。

26. エロイーサと虫たち

ハイロ・ブイトラゴ 文, ラファエル・ジョクテング 絵, 宇野和美 訳

さ・え・ら書房 2011 年

27. Eloísa y los bichos（スペイン語）

texto Jairo Buitrago, ilustraciones Rafael Yockteng

El jinete azul 2012 年

父親とふたり、故郷から遠く離れた町に引っ越してきた「わたし」。そこは虫たちが暮らす町で、わたしは学校にも馴染めず、孤独感を募らせる。けれども少しずつ町に慣れるにつれ、友だちもでき、次第に明るさを取り戻していく。見慣れない人々に囲まれ、言葉も通じない新しい土地で生きざるを得ない難民の心情を、虫の町へ移り住んだ人間の少女に仮託して描くコロンビアの絵本。

28. むこう岸には

マルタ・カラスコ 作, 宇野和美 訳
講談社 1995 年

29. La otra orilla (スペイン語)

Marta Carrasco Ediciones Ekare
Ediciones Ekare 2007 年

チリの絵本。川辺に住む女の子は、母からむこう岸に行かないと言われていた。ある日、対岸の男の子の誘いで川を渡る。住んでいる人々の髪や肌の色も服装も自分達とは違っていたが、焼き立てのパンからは同じ匂いがした。二人はいつか川に橋をかけて、行き来したいと願う。2008 年国際児童図書評議会オナーリスト賞絵画部門受賞。

30. La niña de la calavera : cuento basado en un relato mapuche (スペイン語)

どくろの少女 : マプチェ人の昔話

Marcela Recabarren; ilustraciones, Raquel Echenique
Editorial Amanuta 2006 年

チリ南部の先住民族マプチェ人の昔話。美しい娘が、美しさを妬んだ意地悪な継母から戦士の骨で呪いをかけられ、顔をどくろに変えられてしまう。呪いを解くため、娘が別の戦士の骨を集めると骨は立派な戦士になった。アニメーション映画を基に絵本化した作品は、図案化された絵柄でマプチェ人の衣装や髪型、現地の動植物の特徴をよくとらえる。2006 年国際児童図書評議会オナーリスト賞絵画部門受賞。

31. やんちゃなマルキーニョ

ジラルド 作 ; 松本乃里子 訳
静山社 2009 年

32. O menino maluquinho (ポルトガル語)

Ziraldo
Melhoramentos 2000 年

ブラジルで 1980 年の初版以来、250 万部の発行数を誇り、親から子へ読み継がれて来た絵本。元気いっぱい何でも興味を示すマルキーニョは、作者の幸せな子ども時代の回想である。サッと飛び跳ねるようなタッチの漫画風な絵が、マルキーニョのやんちゃぶりとよく合い、ブラジルの男の子の日常がわかる。ブラジルでは、続編も出されシリーズ化している。

33. Cambalhota (ポルトガル語) とんぼ返り

Ricardo da Cunha Lima ; ilustracoes de Mariana Massarani.
Companhia das Letrinhas 2003 年

ブラジルの詩の絵本。工場長が発明した座面が上下し、健康にもよく、嫌な客を追い払うこともできるという「自動椅子」や町の交通問題を解決するために、市役所がしゃべる標識を設置する「おしゃべりな標識」など身の回りのものを題材とした楽しい詩が並ぶ。表情豊かな絵は、ユーモアにあふれカラフルで詩の理解を助ける。2006 年国際児童図書評議会オナーリスト賞絵画部門受賞。

34. こないかな、ロバのとしょかん

モニカ・ブラウン 文, ジョン・パッラ 絵, 斉藤規 訳
新日本出版社 2012 年

ある朝、アナが見たのは「ろばのとしょかん」という札を持った男の人と 2 頭のロバ。図書館員であるおじさんは、こどもたちにおはなしを読み聞かせ、こどもたちは本に夢中に。次にろばのとしょかんが来る日が待ちきれないアナは「おじさんとロバのおはなし」を書くことに...コロンビアで実際にあった話を基に描かれた絵本。

35. おまつりをたのしんだおつきさま：メキシコのおはなし

マシュー・ゴラブ 文, レオビヒルド・マルティネス 絵, さくまゆみこ 訳
のら書店 2019 年

メキシコ南部にあるオアハカ州に伝わるお話。ほしたちが、おまつりが楽しそうだしおひさまの空にひっこししたいと話しているのを聞いてしまったおつきさま。ひとりぼっちになるのは困ると慌てたおつきさまは、それならば夜にもおまつりをやろう！と村人たちを誘っておまつりを開いたが…空に太陽と月が一緒に浮かんでいる現象をユーモラスに表現した絵本。

36. アンデスの少女ミア：希望や夢のスケッチブック

マイケル・フォアマン 作, 長田弘 訳
BL 出版 2009 年

アンデスの麓、都会の廃品を売って生計を立てる村に住む少女ミアは、ある日、父の拾った子犬を探す途中、花畑を見つけた。そして、持ち帰った花を家で育て、町で売り始める。二度のケイト・グリーンナウェイ賞を受賞したイギリス人の著者が、実在の人物をもとに書いた絵本。

37. Veo, veo : descubriendo el arte de Socorro Salinas (スペイン語) 見つけた、見つけた

textos de M^a Francisca Mayobre y Vicente Lecuna
Ediciones Ekaré 2014 年

ベネズエラ出身の画家の絵の中から、指定された人や物を探し出す絵本。ベネズエラの街や人々の様子が、鮮やかな色で生き生きと描かれている。

38. クリスマスまであと九日：セシのポサダの日

マリー・ホール・エッツ, アウロラ・ラバスティダ 作, マリー・ホール・エッツ 画,
たなべいすず 訳
富山房 1974 年

先住民の文化とスペイン移民の文化が混じり合い、独特の文化を形作っているメキシコを舞台にした絵本。「ポサダ」とは、クリスマス前の 9 日間に毎晩開かれる特別なパーティーのこと。小さな女の子セシが、生まれて初めてポサダをしてもらえることになり、その日を心待ちにする様子や、パーティーの準備のためにマーケットに行く様子などが丁寧に描かれている。

39. ペルー・ボリビアのむかし話：インカにつたわる話

加藤隆浩 編訳
偕成社 1989 年

インカ帝国の子孫、ケチュア族とその近隣の民族の昔話集。著者が直接に聞き書きした昔話も含め、ペルー14 話、ボリビア 9 話を収録する。みすばらしい姿の老人が神様だったという「黄金になった小麦粉」や先住民の正直さを伝える「石のスープ」などがある。

40. ブラジルのむかしばなし 3

カメの笛の会 編
東京子ども図書館 2013 年

ブラジルの昔話 2 編とブラジルに関するやさしいクイズや植物についてのコラムが、日本語とポルトガル語の両方で収録されている。

国立国会図書館 国際子ども図書館
児童サービス課 児童サービス企画係
URL : <https://www.kodomo.go.jp/>